

青森県総合社会教育センター主催事業報告

柴田学園高校 ワークショップ

1 ワークショップに係る学校の要望等

企画の 카테고리	<input type="checkbox"/> 大学進学 <input checked="" type="checkbox"/> 将来の進路 <input type="checkbox"/> 多様な価値観 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> その他
実施する目的	人生の先輩である大学生の話を聞くことにより、自分の将来の進路について考えるきっかけとしたい。
ワークショップ終了後の目指す姿	先輩の意見や経験に共感し、自分の将来について考え、進んで行動できることのできる姿を目指したい。

2 要望を受けた上でのワークショップのテーマ

テーマ「 FUTURE STREET 」

この企画のカテゴリは、「将来の進路(夢)」、「コミュニケーション」で、実施する目的は、「人生の先輩である大学生の話を聞くことにより、自分の将来の進路について考えるきっかけとしたい。」であることから、テーマは「FUTURE STREET」としてワークショップを進めます。このテーマとした理由は2つあります。

1点目は、これからの高校生活で曖昧な進路選択をして過ごしてほしくないからです。私自身、高校1年生のときから、将来の夢を決めていたものの、「将来のために、今からしなければならないこと」を考えていなかったことを後悔しています。このワークショップを通して、自分を見つめ直し、このワークショップでは、納得することのできる進路選択をしてほしいと思います。

2点目は、「将来の道」を切り開いてほしいと思ったからです。そのため、将来何をすればいいかわからないと悩んでいる高校1年生に対して、大学生と対話することで、すべきことが見つかったり、決まったりすることでどんどん将来に向けて進むことができると思います。このワークショップを通して、将来の進路に向けて考えることの大切さを実感してほしいと思います。

これらのことから、2点の目的を意識しながら進めていき、ワークショップ終了後の目指す姿の達成を目指していきたいと考えます。

3 参加生徒数

第1学年 142名

4 報告

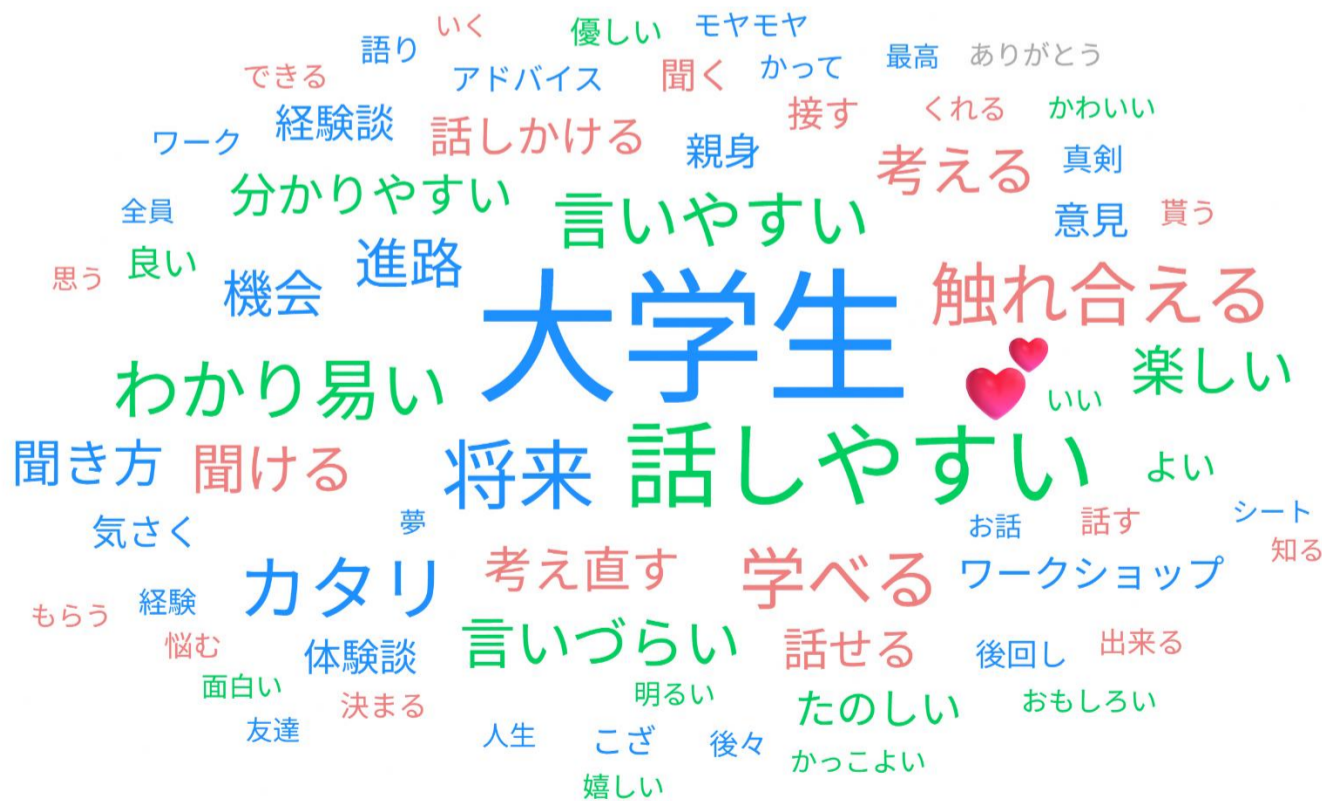
(1) 参加生徒へのアンケート結果 (有効回答数70名、有効回答率50%)

ア 有意義度調査

1 ワークショップは有意義でしたか?	3.70
2 ワークショップでの活動において「今の自分・これまでの自分」を見つめなおす機会となりましたか?	3.67
3 ワークショップでの活動は「将来の自分・進路選択」について考える機会となりましたか?	3.68

※アンケートはすべて4件法で実施。数字が多いほうが高評価。

イ 自由記述によるテキストマイニング分析



大学生との交流を通じて具体的な体験談や親しみやすい雰囲気が提供され、進路への不安が軽減されて今後の行動意欲が高まったと多くの参加者が感じており、ワークショップのわかりやすい進行や対話形式の活動が自己見直しのきっかけとなった。そして、大学生の多様な意見や親身な対応により新たな視点や安心感が得られ、進路選択の方向性が定まりやすくなったため参加者は感謝と前向きな期待を抱いている。

(2) 学校へのアンケート結果

1 ワークショップの満足度は?	5
2 学校としての実施目的の達成度は?	5
3 生徒がワークショップへ参加している様子から、進路や目標を明確に意識できる様子が見られたか?	5

※アンケートは5件法で実施。数字が多いほうが高評価。